がら学習や生活に活用しようとする態度を養う。

B　図形

ア　身の回りのものの形の観察などの活動を通して，図形についての感覚を豊かにするとともに，ものについて，その形の合同，移動，位置，機能及び角の大きさの意味に関わる基礎的な知識を理解することなどについての技能を身に付けるようにする。

イ　身の回りのものの形に着目し，ぴったり重なる形，移動，ものの位置及び機能的な特徴等について具体的に操作をして考える力を養う。

ウ　図形や数量の違いを理解し，算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。

C　測定

ア　身の回りにある長さや体積などの量の単位と測定の意味について理解し，量の大きさについての感覚を豊かにするとともに，測定することなどについての技能を身に付けるようにする。

イ　身の回りにある量の単位に着目し，目的に応じて量を比較したり，量の大小及び相等関係を表現したりする力を養う。

ウ　数量や図形の違いを理解し，算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。

D　データの活用

ア　身の回りにある事象を，簡単な絵や図を用いて整理したり，記号に置き換えて表したりしながら，読み取り方について理解することについての技能を身に付けるようにする。

イ　身の回りの事象を，比較のために簡単な絵や図に置き換えて簡潔に表現したり，データ数を記号で表現したりして，考える力を養う。

ウ　数量や図形の違いを理解し，算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。

(2) 内　容

A　数と計算

ア　100までの整数の表し方に関わる数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 次のような知識及び技能を身に付けること。

㋐　20までの数について，数詞を唱えたり，個数を数えたり書き表したり，数の大小を比べたりすること。

㋑　100までの数について，数詞を唱えたり，個数を数えたり書き表したり，数の系列を理解したりすること。

㋒　数える対象を２ずつや５ずつのまとまりで数えること。

㋓　数を10のまとまりとして数えたり，10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりすること。

㋔　具体物を分配したり等分したりすること。

(ｲ) 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

㋐　数のまとまりに着目し，数の数え方や数の大きさの比べ方，表し方について考え，学習や生活で生かすこと。

イ　整数の加法及び減法に関わる数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 次のような知識及び技能を身に付けること。

㋐　加法が用いられる合併や増加等の場合について理解すること。

㋑　加法が用いられる場面を式に表したり，式を読み取ったりすること。

㋒　１位数と１位数との加法の計算ができること。

㋓　１位数と２位数との和が20までの加法の計算ができること。

㋔　減法が用いられる求残や減少等の場合について理解すること。

㋕　減法が用いられる場面を式に表したり，式を読み取ったりすること。

㋖　20までの数の範囲で減法の計算ができること。

(ｲ) 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

㋐　日常の事象における数量の関係に着目し，計算の意味や計算の仕方を見付け出したり，学習や生活で生かしたりすること。

B　図形

ア　身の回りにあるものの形に関わる数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 次のような知識及び技能を身に付けること。

㋐　ものの形に着目し，身の回りにあるものの特徴を捉えること。

㋑　具体物を用いて形を作ったり分解したりすること。